

施設名	明治橋(めいじばし)								
所在地	大分県 臼杵市								
管理者等	臼杵市								
施設種類・分野	道路	橋							
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>形式 単純鋼2主1桁橋 規模 橋長32.5 m(支間16.25 m)／総幅員 5.5 m</p> <p>1902(明治35)年に野津川に架設された橋長32.6mの道路用鋼桁橋である。1961(昭和36)年に現在の新橋が完成するまで、道路橋としての役割を担ってきた。現在も、歩道および二輪車専用道として地元住民の生活の中に生き続けている。歩道橋とはいえ、建設当初のままで今も供用されている道路用鋼桁橋としては、我が国最古の橋。</p>								
築造時期	明治後期		時期詳細	明治35年					
関連人物	—								
関連企業	—								
トピックス (特徴的エピソード)	臼杵の石仏は観光名所として有名であるが、1824(文政7)年に明治橋と同じ野津町内に架設された国指定重要文化財の虹橋や日本最長の8連アーチの耶馬溪橋をはじめ、現存する石造アーチ橋の数では日本一を誇る。明治橋建設当時の橋梁技術やさまざまな環境条件から考えて、日本国内でも稀少な鋼橋が、しかも大分の山間部になぜ建設されたのか、きわめて不思議な謎である。その謎はいまだに解明されていない。しかし、大分の石橋研究家岡崎文雄氏の調査により興味深い事実が明らかになってきた。※)文献1より引用								
歴史的な遺産等の指定の有無等	—	選奨土木遺産(土木学会)	○	文化財(文化庁)	—	近代化産業遺産(経産省)	—	世界遺産(ユネスコ)	—
	その他の指定・認定		臼杵市指定有形文化財(平成3年指定) 大分県指定有形文化財(H.17.3.29)						
その他 (関連資料、文献)	<p>文献1: 土木学会 選奨土木遺産解説シート (<a href="http://committees.jsce.or.jp/heritage/node/409">http://committees.jsce.or.jp/heritage/node/409</a>)</p> <p>文献2: 一般社団法人九州地域づくり協会「土木遺産in九州」 <a href="http://dobokuisan.qscpua2.com/search-list/05ooita/43chikadohashi/">http://dobokuisan.qscpua2.com/search-list/05ooita/43chikadohashi/</a></p>								
管理者等のHP (URL等)	—								

※)職員撮影